

横浜市で今春入隊した一般曹候補生が母校訪問 「凛々しい制服姿に感動」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は、12月9日（水）、今春、一般曹候補生として陸上自衛隊武山駐屯地に入隊して現在、駒門駐屯地第1高射特科大隊指揮情報中隊に所属しているみしましたか三島由稜 1 陸士の母校訪問を実施した。

これは部隊側から「自衛隊地方協力本部の募集広報に協力したい」という申し出があり、彼の母校である県立横浜清陵高校を訪れたものである。学校に到着すると当時担任だった浜田教諭が出迎えてくれ、彼を見るや否や凛々しい制服姿に驚いている様子だった。

その後、田中校長から当時の思い出や学校の現状などのお話があり、ユーモアを交えた会話に三島 1 陸士も笑顔で応じていた。また災害派遣での自衛隊の活動について、「自衛隊の対応能力や活躍する姿に感銘を受け、いつも有難く思っています」と感想をいただくとともに、現在の自衛官の募集状況について尋ねられるなど、自衛隊への関心が高い事がうかがえた。最後に職員室で他の先生達に挨拶を済ませ、見送られながら思い出深い学校を後にした。

横浜中央募集案内所は「部隊及び入隊者との連携を継続し、学校訪問を積極的に行うとともに学校との連携を深化させ、募集成果につないでいきたい」としている。



応接室での懇談の様子
（右から、田中校長、浜田教諭、平原所長、三島 1 陸士）



応接室で記念撮影
（右から、石村担当広報官、田中校長、三島 1 陸士、浜田教諭、平原所長）



浜田教諭（左）と吉田教諭（右）からの「かっこいい」の言葉に笑顔で敬礼する三島 1 士